

第 24 回環境化学討論会 自由集会紹介文

環境化学および周辺分野の連携・協働の可能性

世話人：磯部友彦（国立環境研究所）

国内における、環境化学および関連分野の学会やその活動を見渡すと、化学分析、毒性、モデル、リスク評価など、それぞれの分野に特化した研究は確実に進展し、それぞれが高度で専門的な学術分野を形成しています。しかしながら、今後の環境化学会および環境関連学会を盛り上げるには、分野横断的研究が欠かせません。本自由集会では、化学分析、毒性、モデル、リスク評価など、複数の環境関連学術分野に渡る研究を進める意義や意味、面白さ、将来性などについて、年齢、所属、身分を問わず、意見交換したいと思います。将来の環境科学学術分野の発展に、環境化学会および関連学会がどのように関わっていくべきか議論しませんか？

まず、化学分析、毒性、モデル、リスク評価、疫学など、複数の環境関連分野にまたがる研究に携わる研究者を招待し、分野横断研究を進める意義や意味、面白さ、将来性などについて話題提供していただきます。話題提供者の選定は、環境化学会会員だけでなく、環境関連の他の学会からも募集を予定しています。その後、自由討論の時間を設け、今後の環境科学および関連学術分野の発展に環境化学会や周辺の関連学会としてどのように関わっていくべきか、将来的な分野横断的研究集会等の共催イベント開催も視野に入れて議論したいと思います。自由討論では、環境化学会所属にとらわれず、幅広い年齢層、分野、立場の方々から自由に発言していただき、環境研究全般の発展の可能性や方向性について意見交換させていただきますと考えています。